

認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

## 2018年度 事業計画

2018年1月1日から2018年12月31日まで

### 1. 2018年度の事業実施方針

2017年度に見直し、再設定したフリー・ザ・チルドレンのビジョンやミッションなどを目指し実現するために、2018年度は「子どもでも、おとなでも、誰しものが大切にされ、違いや個性が尊重され、誰ひとり取り残されない社会」を国内外で目指し、国際協力活動と並行して、国内の子どもの権利の擁護活動や共生社会の実現に向け全国の自治体や学校、企業との連携を強めて講演会やワークショップなどを実施していく予定です。

団体のミッションステートメントを実現するために、団体の事業体系を、よりミッションと整合性のあるものに再編成し、2018年度からは2つの大きな事業の柱「Free The Childrenプログラム」と、「WE Movement」を打ち立て、その2つの柱のもとに様々な活動を行っていきます。特に、注力する活動としては、2017年度から準備を始めた「WE Schools」プロジェクトを2018年度から本格的に周知し、実施できるよう更に学校との連携を強めます。また、「WE Day」の2019年実現に向け、具体的なアクションを起こしていきます。SDGsを意識してその達成に向けて活動するために、国際協力分野での活動においても、より多くの人々と連携しながら実施していきます。そして、上記の強化活動をより実りあるものにするために、新たに2人の担当スタッフを迎える予定です。

#### ▼2018年度は、以下のことに重点的に取り組みます。

1. WE Schoolsを全国の学校に対して展開していくための具体的な広報アプローチをスタートさせ、より多くの学校や塾などの教育機関との連携、協力に努めます。
2. WE Day開催を2019年に日本で実現できるよう、様々な組織、人とのネットワーク構築を行います。また、資金的に協力下さる企業へのアプローチにも力を入れていきます。
3. 2017年度に引き続き、SDGsで掲げる目標の達成に向け、貧困などが原因で権利が守られていない開発途上国の子どもに対し、現地のNGOや組織、受益者自身とともに、国際協力活動を行います。
4. 2017年度に引き続き、SDGsで掲げる目標の達成に向け、国内の社会問題や子どもの権利について子どもや若者、一般の方が学ぶ機会を創出します。そのためにワークショップやキャンププログラムの拡充を行います。

#### ▼ビジョン・ミッション、理念

ビジョン:世界中のすべての人々が【誰一人取り残されることなく】社会に参加し、国籍・宗教・年齢・性別・障害の有無・文化に関係なく、違いや個性が尊重され、互いに勇気づける多様性のある社会。

ミッション:上記のビジョンを達成するために、まずは子どもの権利を守り、子どもの可能性を引き出すことが大切だと考えていることから、2つのFreeを目指します。

1. 国内外の貧困や差別から子どもをFree(解放)する。
2. 「子どもには世界を変えられない」という考えから、子どもをFree(解放)する。

理念:「世界は変えられる」子どもがそう信じられる社会に WE Free the Children

以上、「誰ひとり取り残されない社会」の実現に向け、多くの方々、組織とともに連携し、より良い活動を実施していきたいと考えておりますので、2018年度もどうぞよろしくお願いいたします。

代表理事 中島 早苗

## 2. 事業の実施に関する計画

### <WE Movement>

#### ・子ども主体活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
アンバサダー企画活動	2018年度のアンバサダー(旧子ども代表委員)によって企画運営します。全国の子ども達がより活発に良い活動し、子ども同士で情報交換や交流を深めるための活動を企画していきます。 日時・場所: 通年・全国(主に団体)	通年	全国	全国の子ども達 800人	65
メンバーチーム活動	メンバーとして登録する子どもやユースが目的に応じてチームを組んでの活動します。(チョコプロ、インドチーム、フィリピンチームなど) 日時・場所: 通年・全国(主に団体)	通年	全国	子ども 1500人	136

#### ・子ども活動応援

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
子ども若者育成	子ども・ユースを対象にしたリーダーシップトレーニング「Take Action Camp」の実施。カナダでのイベントは、EFグループとともにデザインし実施する。 ▼Take Action Campとは、子どもや若者が国内外の社会問題を知り、その解決に向けてアクションをおこなうためのノウハウを学び、自分に何が出来るかを考えるための合宿型育成研修イベント ※カナダでのイベント名は「グローバル・チャレンジ・プログラム」	春の連休や夏休み中に3~5日間で実施予定 計3回実施	日本	国内の子ども・ユース 80人	2,350
		トロントにて1週間のEF語学学校での英語習得と1週間のTake Action Campの実施で合計2週間の予定	カナダ		1,870
	ボランティアトリップ(スタディツアー)の実施。Free The Childrenプログラム(海外自立支援活動)を展開する開発途上国の国際協力活動の事業地を訪問し、現地の人々と交流する1週間程度のツアーの開催。対象は子どもや若者だけでなく、おとなも参加できるようにし、年代を超えて楽しめるツアーにする。また、学校のプログラムとしてオーダーメイドのツアーの実施も行う。ケニアのツアーを実施できるよう2018年度は準備する。	春休み、夏休み、その他	フィリピン、インド	国内の子ども・ユース・おとな45人	1,054
②地域に密着し、自治体と共に子どもやユースを対象にしたリーダーシップトレーニング、国際理解・共生社会実現・ワークショップ企画運営を実施する。 ▼例えば、渋谷区や世田谷区の学校や施設において、区在住や区に通学する子どもや若者を主な対象とした国内外の社会問題や子どもの権利について考えるためのワークショップイベントの企画と実施を行う。	通年	東京都	子ども若者 東京都の子ども若者1万人	1,800	
③ファシリテーター育成活動 リーダーシップトレーニングキャンプやワークショップを実施するためのスタッフの育成	通年	主に東京都	全国の子ども達・ユース 50人	119	

子どもメンバー活動サポート	①子どもメンバーなどで構成される活動チームの育成、サポート、チームの存在を紹介する広報活動を実施。	通年	全国	チームに所属する 全国の子ども達 80人	300
	②学校や地域のグループ活動のサポート 各地の学校・グループの活動をサポートする体制を整える。特にWEBサイトの充実を図る。	通年	全国	全国の子ども達 800人	360
	③子ども主体事業へのサポート アンバサダー主導による企画へのサポート	通年	全国	FTCJアンバサ ダー 10人	50
	④全国の子ども達からの質問、活動へのサポート 毎月の活動ヒント講座、子ども達からの質問対応、 情報提供などまた、子どもが活動しやすい会員制度 の検討	通年	全国	全国の子ども達 800人	300
	⑤季節に合わせたキャンペーンキットの開発・提案	通年	全国	全国の子ども達 及び 学校関係者500 人	500
国内の 子ども支援	【国内の子ども支援】 国内の子どもの権利を守るため、権利を奪われ支援 が必要な状況にいる子どもの状況や問題に直面す る国内の子どもの支援の方法について調査を継続 する。必要に応じて他組織とネットワークを構築す る。また、日本の貧困やいじめ、差別などの問題に ついて学ぶワークショップ開発し、各地の学校やイベ ント等で実施する。	通年	全国	日本で困難な 状況にある 子ども200人	125

#### ・外部ネットワーク活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
外部ネット ワーク構築	①CL-Net(児童労働ネットワーク)・NGO労組協働 フォーラムへの運営委員参加と事業実施 ②JNNE(途上国の子ども教育支援事業NGOのネッ トワーク)への参加と事業実施 ③JANIC、DEAR、他組織の会員になって他団体と繋 がって活動する。 ④日比NGOネットワーク(JPN)、SDGs関連などの ネットワークへの参加 ⑤世田谷区や東京都との教育の観点から連携事業 の実施を計画する。 ⑥関西でのNGO/NPOネットワークへの参加	通年	全国	子どもの権利を 侵害されている 開発途上国及び 国内の子ども	750

#### ・WE Schools / アドボカシー(啓発)活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
スピーカー派遣	① WE Schools全国展開 全国の学校など教育機関に、WE Schoolsの周知を 行い、登録を促す。学校との連携事業を強化する。 ②全国出張講演 国際協力や国際理解教育、人権教育に関心のある 学校からの要請を受け、出張講演を実施する。 2018年度目標:100校での実施を目指す。	通年	全国	全国の子ども 達・一般人: 10,000人 教員:100人	2,810
教材開発	① WE Schools教材開発(子どもの権利や共生社 会、世界の貧困下にいる子どもの現状について考え るワークショップ教材の開発) ② 他組織と連携、協働して、国内外の社会課題を 学び、アクションを起こせるよう日本の子どもを促す ためのネットワーク構築と、教材開発及び機会の創 出を行う。	通年	全国	全国の子ども達 ・教員 10,000人	2,880

イベント	<p>他団体主催によるイベントへの参加及びFTCJ主催イベントの開催：パネル展示、動画上映、スピーチなどを通して、権利を奪われた子どもの現状や団体活動紹介をする。同時に可能であれば物販活動も行う。</p> <p>予定)グローバルフェスタ、メーデー中央大会、ワン・ワールド・フェスティバル等。</p> <p>また、WE Dayの開催を視野に入れ実施のための特別チームを設置し、外部組織からコンサルテーション支援を受けながら調査、準備を行っていきます。</p>	通年	全国	全国の子ども達 ・一般 10,000人	290
メールマガジン ニュースレター アニュアルレポート の発行	<p>①メールマガジンを毎月2回発行する。</p> <p>②ニュースレター(年3回)を発行する</p> <p>① ニュアルレポート(年1回)を発行する。(各600部)</p>	通年	団体 オフィス	全国の子ども達 ・一般 3,000人	648
ホームページの開 設運営	<p>①ホームページのリニューアル作業、更新。</p> <p>②サーバー管理</p>	通年	団体 オフィス	メンバー100人	654
物販・貸出	<p>貧困層の自立につながるフェアトレード商品や国際理解教育教材(DVD)や書籍などの仕入れ、紹介、販売、管理を行う。また店舗での委託販売先の開拓も開始する。</p> <p>2018年度目標:収益200万円を目指す</p>	通年	全国	メンバー100人	387

#### ・WE DayX 活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
WE DayX 日本開催 準備	2006年にカナダで始まったWEDayの日本版を2019年に開催することを視野に入れ、準備をすすめる。イギリスのWEDayに参加し参考にするなど行う。	通年	全国	全国の子ども達 5000人	3,994

#### <Free The Childrenプログラム>

#### ・国際協力活動

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の 範囲及び人数	事業予算 (千円)
インド	<p>【CCD支援】</p> <p>西ベンガル州コルカタ付近にある現地NGO・CCDを通じて「マクタンニール子どもの家」(養護施設)で生活する元ストリートチルドレンなどの貧困家庭出身の子どもたちや貧困コミュニティへ教育支援や健康支援事業を行う。また日本の支援者と受益者の子どもと手紙を通じた交流「文通プログラム」を運営する。</p>	通年	インド 西ベンガル州	インドCCD養護施設の子ども達 40人	600
	<p>【FTCネットワーク活動】</p> <p>ラジャスタン州ウダイプル周辺の貧困農村地域を対象に、教育支援、水源確保、栄養強化及び健康向上、農民の収入向上支援を行い、農村の生活環境向上と、子ども達の教育へ充実を図る。</p>	通年	インド ラジャスタン州	支援先農村の 村民1500人	3,300

フィリピン	【ミンダナオ島コミュニティ自立支援】 手紙を通じた交流「文通プログラム」の運営を通じた資金をもとに、ミンダナオ島内の先住民族の子どもへの教育支援を行う。	通年	フィリピン ミンダナオ島	先住民族の子ども達 20人	400
	【その他貧困地域・子ども支援】 フィリピンの支援が必要な貧困地域や権利を奪われた子どものニーズをもとに、現地パートナー団体と協働し、教育、保健、水、収入向上の側面から地域の自立に向けた国際協力活動を行う。	通年	フィリピン	貧困農村地域住民及び、虐待や刑務所などから救出された子ども 500人	600
	【障害者支援】 フィリピン国立盲学校と連携し、同学校に通う学生が安心安全で健康的な環境で質の良い教育を受けられるよう環境を整える。更に、未就学児童の状況や学校に通う子どものニーズを調査し、その他の地域にいる視覚障害児への教育支援を開始する。	通年	フィリピン	国立盲学校に通う視覚障害者の子ども150人及び、その他視覚障害児100人	5,000
	【マラウイ避難民支援】 2017年5月に勃発したフィリピン軍と武装勢力による戦闘から逃れるために避難民となった子どもやその家族への復興支援を行う。	通年	フィリピン	マラウイ市出身の国内避難民となった人々1000人	500
ケニア	【FTCネットワーク活動】 ナロック群南ナロック県エシノニ村を対象に、水支援事業「ケニア深井戸建設及び給水システム確立プロジェクト」を行い、持続可能な人々の健康向上及び生活の質的向上を目指す。また、女性の収入向上支援を行い、農村の生活環境向上と、子ども達の教育へ充実を図る。	通年	ケニア	支援先農村の村民 1500人	500
その他地域	WE Charityが行う上記以外の国(シエラレオネ、タンザニア、エチオピア、ハイチ、中国農村部、エクアドル、ニカラグアなど)の貧困農村地域への自立支援事業を連携して取り組む。	通年	事業地	支援先地域住民 1,000人	1,000

## ・国内子ども支援

活動名	活動内容	日時	場所	受益対象者の範囲及び人数	事業予算(千円)
国内の権利が奪われた子どもへの支援活動	災害や、貧困、差別やいじめなどによって権利を奪われ苦しい思いをし、何らかの助けが必要な国内の子どもに対して、フリー・ザ・チルドレン・ジャパンとして直接または間接的に支援し、子どもへのエンパワーメントを行う。	通年	全国	権利を奪われ助けが必要な日本の子ども	380

## 管理部などその他この法人の目的を達成するために必要な事業に関する計画

### 管理部

活動名	活動内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	事業予算(千円)
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	東京	30	50
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため研修を受講	通年	東京	4	200
個人情報管理	メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行う	通年	東京	4	300
ファンディング	サポーター増強、googleアナリティクスの運用など	通年	東京	3	980
問い合わせ対応	メール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例:事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など	通年	東京	3	350
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2	1100
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	東京	11	120
引っ越し	2018年7月末までに建物取り壊しの為、転居予定。	通年	東京	7	1185
その他	事務所運営管理など	通年	東京	5	35